

●刈払機の飛散物防護カバーは ついてますか？

なぜ？

刈払機の飛散物防護カバーは、作業の方へ飛散物が飛ばないようにするためのものです。作業しにくいとカバーを外さずに、必ず正しい位置に装着して安全に作業しましょう！

ヒヤリ、事故

1. 草刈り中、刃が石垣へ当たり、石の破片が飛んで足に当たった。
2. 畦畔を草刈り中、右目に石が飛びこんできた。翌日になっても痛みが引かないため病院へ行った。

そこで…

対策ポイント

1. 刈刃の飛散物防護カバーを、決まった位置に取り付けて使用します。後ろへずらしたり、取り外したりするのは危険です。
2. 刈刃の飛散物防護カバーが破損した場合には、新品に交換します。
3. 刈刃への巻き付き、詰まりは、必ずエンジンを停止させ、刈刃が止まったのを確認してから取り除きます。



さらに！

追加のヒント

1. 手袋、安全靴、保護メガネまたはフェイスシールド、イヤーマフ、すね当て、その他保護具を装着します。
2. 草丈が高い場合には、上下2段に分けて刈り取るのも有効です。
3. 作業前に、木の枝、空き缶、石、針金等を取り除きます。